

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	産業振興課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	2.「二宮ブランド」の開発と活性化
分野別方針	(1)農林業振興の推進
実施計画事業	農業振興事業(No.50)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	農業振興事業	96.6%	B
02	農業委員会運営経費	98.7%	A
03	農業者年金事業	86.8%	A
04	畜産推進事業	84.4%	B
05	有害鳥獣対策事業	80.2%	B
06	土地改良事業	99.8%	B
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の発掘、育成、支援 ・畜産規模及び経営体減少に伴う事業の見直し ・有害鳥獣被害に対する支援策 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	B
	説明	農業従事者の高齢化が進んでおり、支援育成が必要であり、新規就農者の認定も徐々に進んでいる。 しかしながら、畜産業は新規従事者は見込めないため、今後の事業内容の変更が必要である。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	継続して実施していく。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	畜産推進、就農者や有害鳥獣被害等に対する各種支援策は、農業全般の振興を図るうえで、事業継続は必要である。		